

No.	023	—	1001	事務事業名	成人式開催事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策					
	事業の対象	東温市内在住の成人該当者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	大人としての自覚を促し、人生の節目の事業として実施します。			今年度	成人該当者の成人を祝います。						
	活動内容	①	成人式実行委員会の設置			④	成人式該当者への周知(広報・イントラに掲載)						
		②	成人式の内容等について協議			⑤	会場準備						
		③	成人式該当者・恩師・来賓の方へ案内ハガキ送付										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		成人式参加者数		出席者/新成人対象者		人	目標 411	390	378	該当者の80%			
					実績 305	278							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	843 千円	791 千円	1,253 千円								
	計(A)	843 千円	791 千円	1,253 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.386 人	2,331 千円	0.386 人	2,335 千円	0.386 人	2,352 千円					
臨時職員工数・経費		0.006 人	11 千円	0.006 人	11 千円	0.006 人	11 千円						
全体事業費(A+B)		3,185 千円		3,137 千円		3,617 千円							
一次評価者	社会教育係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	市外に就職・進学した新成人にとっては、友人たちと再会できる場にもなっており、出席者からは好評を得ています。また、成人になったことを自覚するために必要な事業です。												
有効性	成人式は年に1度の事業であり、また参加者にとっては一生に一度の行事で、心に残る有効性の高い事業です。												
達成度	毎年実施しておりますが、大人としての自覚を持ち、問題なく実施出来ておりますので、概ね達成しています。												
効率性	現在実行委員会形式で実施しておりますが、毎年参加者が少ないため、運営が難しくなっております。もっと効率のよい運営を検討する必要があります。												
当面の課題	成人式の内容を充実させるため、実行委員会の運営方法を改善する必要があると考えます。												
改革計画	他の市町の情報を収集し、募集方法等の改善を検討していきます。また、コストは増加しますが、坊っちゃん劇場を利用するなど抜本的な検討もする必要があります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	成人式は、イベントではなく、儀式で有る事を認識して、運営委員会ですっかり検討して、思い出となる式典としてください。												

No.	023	—	1006	事務事業名	J r . リーダー育成講座事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(4) 青少年団体、リーダーの育成				
	事業の対象	東温市内の中学生				根拠法令							
	事業の目的	最終的	新しい時代を切り拓く積極的な心を育て、次代の指導者として育成します。			今年度	体験学習を通し、生き抜く力を習得し、仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人一人の自己教育力の確立を目指します。						
	活動内容	①	6月3日(日) 開講式(東温消防署にて普通救命講習)			④	12月26日(水) 冬季事業(久万スキーランドでのスノーボード体験)						
		②	8月22・23日(水・木) 無人島キャンプ(松山市中島由利島)			⑤	2月2日(土) 森林ボランティア体験(塩ヶ森で雑木切り出し、きのこの植菌作業体験)						
		③	10月21日(日) サイクリング今治大会(今治市・大島)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		講座参加者数	参加者の実数		人	目標	30	30	30	30			
				実績	35	35							
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	350 千円	351 千円	437 千円								
	計(A)	350 千円	351 千円	437 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.166 人	1,002 千円	0.166 人	1,004 千円	0.166 人	1,012 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,352 千円	1,355 千円	1,449 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	学校の枠を超えた中学生対象の年間講座は、県内の他の市町ではあまり事例がありません。体験学習は青少年の成長に必要で、今後の人生に必ず役立ちます。												
有効性	事業を実施し他校の生徒との交流を通して協調性、自主性を身につけるのに有効です。但し、内容については、いろんな経験が出来るよう毎年見直ししていきます。												
達成度	年により参加者の人数は増減するが、ほぼ達成しています。												
効率性	なるべく予算をかけない方法で実施しておりますが、体験の楽しさを感じられる事業を効果的に実施していきます。												
当面の課題	社会の変化とともに事業を見直し、内容の変更を行いながら、子どもの成長にとって魅力ある講座、為になる講座を安全を考慮しながら実施する必要があります。												
改 革 画	アンケートやインターネット等による情報収集力の強化、指導者のスキルアップのための研修参加を検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	もっと中学生に魅力の有る、興味の有る、参加して良かった！ためになった！と言う講座を実施してください。												

No.	023	—	1011	事務事業名	わんぱく広場事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策					
	事業の対象	東温市内に在住している小学4年から6年生の児童				根拠法令							
	事業の目的	最終的	体験活動を通じて、地域の自然・文化を再認識させ、仲間意識・連帯感の高揚を図り、子どもに生きる力・創造力・健全な心身を養うことを目的とします。			今年度	体験活動を通じて仲間と協力し、自ら行動する力を養います。						
	活動内容	①	6月30日(土)英国料理教室			④	12月2日(日)サブカルチャー講座						
		②	8月8日(水)~9日(木)夏季教育キャンプ			⑤	1月19日(土)三世代なかよし運動会・閉講式						
		③	9月30日(日)かすみの森で遊ぼう!										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		講座参加募集数	講座参加数		人	目標	80	80	50	50			
				実績	90	104							
アンケート満足度		満足度5段階評価(5点満点)5及び4採点者数/参加人数		%	目標	100	100	100	100				
					実績	91	92						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	489千円	324千円	428千円								
		計(A)	489千円	324千円	428千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.161人 972千円	0.161人 974千円	0.161人 981千円								
		臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円								
	全体事業費(A+B)		1,461千円	1,298千円	1,409千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	実施方法は、各市町で違いはありますが、ほとんどの市町で独自に実施されております。また、学校で行う活動には限界があるため、活動を補い、学校ではできない体験をさせることは必要です。												
有効性	学校ではできない講座内容を考えて実施しております。また講座を通して他校の児童との交流や協調性、自主性を身につけるのに有効です。												
達成度	次年度も続けて講座に参加してくれる児童もおり、また少子化で児童数が減少しているにもかかわらず、参加数もほぼ毎年一緒となっているため、概ね達成できています。												
効率性	なるべく予算をかけないように考えて実施しておりますが、ボランティア制度等を利用し、さらなる効率性を検討する必要があると考えます。												
当面の課題	児童の健全育成を推進できるよう、体験型の講座を充実させ、より良いものを提供できるように検討する必要があると考えます。												
改 革 画	他市町の実施内容等の情報を収集し、改善を検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	より児童の健全育成に貢献できるよう講座を充実させてください。												

No.	023	—	1016	事務事業名	社会人権同和教育事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第6章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	1 人権尊重のまちづくりの推進		主要施策	(2)あらゆる場を通じた人権教育・啓発活動の推進				
	事業の対象	市民				根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法令						
	事業の目的	最終的	人権が尊重される社会の実現を図ります。			今年度	地域住民に対して、あらゆる場を通じ、人権意識を高めることができる場を提供していきます。						
	活動内容	①	人権講座の開催			④	市内企業訪問で人権啓発(人権教育協議会)						
		②	人権ゼミナールの開催			⑤	人権啓発パンフレット作成(人権教育協議会)						
		③	人権を語る集いの開催(人権教育協議会)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		人権講座参加者数	参加延人数		人	目標	320	330	330	350			
			実績	320		322							
人権ゼミナール参加者数		参加延人数		人	目標	250	270	270	300				
					実績	267	248						
人権を語る集い参加者数	参加延人数		人	目標	300	300	300	300					
				実績	182	126							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,992 千円	2,992 千円	3,254 千円								
	計(A)	2,992 千円	2,992 千円	3,254 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.134 人 809 千円	0.134 人 811 千円	0.134 人 817 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		3,801 千円	3,803 千円	4,071 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	様々な人権問題に関する市民の理解と認識を深め、自らの課題として解決する人権尊重意識の高揚を図るため、行政が積極的に取り組む責務を負っています。												
有効性	生涯学習の観点に立って、社会教育と学校教育の両面から、また関係機関、団体等との連携のもと、学習の場の確保と研修の充実により、人権意識と実践力を高める成果が大きく期待できます。												
達成度	人権講座、人権ゼミナール、人権を語る集い等の研修会参加者数も安定しており、市民の人権意識の高揚が図られるとともに、「人権文化の根付くまちづくり」に大きく貢献しています。												
効率性	研修会の実施に際しては、テーマに即した講師等を必要最低限の謝礼、旅費等で依頼するなど、効率実施に努めています。また、愛媛県人権教育協議会等との連携を深め、講師派遣協力等により、コスト削減に努めています。												
当面の課題	事業のより一層の工夫改善を通して、理解からさらに実践化につなげていくことが必要です。												
改計画	聞くだけの研修から、参加体験型研修やディスカッション形式等の導入を検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市の総合計画を作成し、人権が尊重される社会の実現を図るため、積極的に取り組んで下さい。												

No.	023	—	1021	事務事業名	滑川野外活動研修施設整備事業	細事務事業名		公的関与	6					
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	24年度～25年度					
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策						
	事業の対象	東温市の青少年、入込観光客				根拠法令								
	事業の目的	最終的	当市には、野外活動や体験学習を行う施設がない現状です。そこで市内でも一番自然環境が豊かな滑川地区に研修棟・炊事棟を整備し、自然体験を通じて青少年の健全育成及び観光客の利用促進を図り、高齢化が進む滑川地区の活性化を目指します。			今年度	・旧滑川小学校校舎 解体撤去 ・研修棟 木造平屋建 建築面積約243㎡ 新築 ・炊事棟 木造平屋建 建築面積約33㎡ 新築 ・ほか付帯工事							
	活動内容	①	工事の実施			④								
		②	条例、施行規則の制定			⑤								
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標				
		利用者数（大人）		補助事業であるため、費用対効果が求められます。		人	目標	—	—	—	330			
					実績	—	—							
					目標									
					実績									
					目標									
					実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費						
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考								
		国・県支出金	0千円	0千円	17,325千円	平成24年度 実施設計 平成25年度 工事								
		地方債	0千円	2,900千円	55,900千円									
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円									
		一般財源	0千円	92千円	1,078千円									
		計(A)	0千円	2,992千円	74,303千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人 0千円	0.100人 605千円	0.100人 609千円									
	臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円										
全体事業費(A+B)		0千円		3,597千円	74,912千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	研修施設は公共性の高い施設であり、収益性を追求する民間企業では同様のサービスを提供することは困難と考えられます。												
	有効性	社会環境の変化から、青少年期に自然体験する機会が減少し、結果、コミュニケーション能力等の低下が指摘されています。そこで、青少年の健全育成に有効な自然体験が行える施設を整備し、また、観光客の利用促進を図ります。												
	達成度	施設建築に関しては、概ね計画どおり進捗しています。												
	効率性	建築費用に関しては、施設の簡素化を図り経費を節減します。管理については、地元で施設管理委託等を行い、経費節減と施設の健全な運営の両立を目指します。												
	当面の課題	施設完成後の利用者の確保が必須です。												
	改画	各種学校と連携を取るほか、イベント等を積極的に計画し実施する必要があります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	施設完成後の利用者確保の為、各種学校との連携や啓発を行って下さい。													